事務局からの報告・連絡(2026.10.20)

＊今日時点での CPI 会員リストと CPI 認定工場（候補）

1. CPI ホームページ（cpi-jp.com）を株式会社 kumu に制作依頼し、すでにアップしている。10 月 1 日ホームページ保守契約を提携、年間 18 万円、契約期間 1 年（自動更新）

２．廃棄ガラスカレットや再生ガラス骨材を廃棄太陽光パネルから製造供給する会社の団体（再生ガラス骨材推進協議会：RGAC）を 9 月 1 日付けで設立。現在 20 社が加盟。今後代表世話人選出後会員増を目指し、再生ガラス骨材のガイドライン、JIS 化を推進する。

目的：CPI と RGAC との連携を深め、安定した品質の再生ガラス骨材の供給体制を築く GRCJ を Organizer とし、RGAC, SP2R, CPI を実働団体として GMDX（添付）を推進する。

３．再生ガラス骨材を新しい JIS 製品にする取組みについて、事務局からの現状報告。

４．事務局から会計報告（入出金の中間報告）

５．来年度の総会日程（別紙）。理事会は適宜開催、必要に応じて会員へ報告する。
総会のあり方についての課題；
①年 2 回開催；春は WEB、秋は対面、という形式で、2 回の開催でよいか？
②開催場所；秋 1 回の対面でよいとなれば、東京と関西交互開催でよいか？
③プログラム；講演会に時間を割くか、会員間の協議に時間を割くべきか？
④ランチ交流会のような情報交換する場の提供は必要か？
⑤部会、事務局に各約 1 時間弱割り当てているが、時間的に十分か不足か？
⑥秋の総会の開始時間と終了時間について、来年は 30 分遅く始める予定でよいか？
⑦その他？？？

６．部会について
＊新たな部会の提案はないか？　部会の設置への賛否は？　運営についての意見は？
＊会員各社が、再生骨材関連で独自あるいは会員も仲間にして事業を立ち上げるのは自由であり、CPI が何か規制をするものではない。各社にアイデアがあれば、単独で実行する、CPI や会員に呼びかけて実行する、ということで再生骨材が普及することにつながれば、CPI の目的は達せられていく。
＊再生ガラス骨材の JIS 製品化への取組みは 6 月に開始しているが、開始後 2 年内の申請を目標としている。3 年内に認可されると非会員からの事業参入も当然考えられる。それまでに各社にメリットがある事業があれば、単独でやるか、CPI または CPI 会員に呼びかけてやればよいと思う。